

一般社団法人 全麵協

2022.11.20

ニュースフラッシュ no.23



ニュースで伝える全麵協の今

発行:全麵協ニュースフラッシュ編集グループ
編集責任者:専務理事 赤羽 章司

令和4年度 第4回理事会開催報告

令和4年11月19日(土)午後2時から、麵業会館(東京都)で「第4回理事会」が開催されたので、その概要をお知らせします。

【報告事項】

- 1 新規会員 階上町(地方公共団体賛助会員)
- 2 五段位及び四段位認定会報告

	第9回そば道 五段位認定 本審査会	四段位技能審査 北海道支部 石狩認定会	四段位技能審査 東日本支部 郡山認定会	四段位技能審査 首都圏支部 茨城認定会	四段位技能審査 中日本支部 白山認定会	四段位技能審査 西日本支部 大阪認定会
期日	11月12日,13日	10月 8日,9日	9月3日	10月1日	10月30日	10月9日,10日
受験者	78	67	43	58	29	82
合格者 (合格率)	43 (55%)	51 (76%)	24 (56%)	31 (53%)	20 (69%)	45 (55%)

【議 事】

- 1 全麵協「新そば祭り」について

(赤羽専務理事)

参加者が12月3日は21人、4日は19人、5日は38人となっている。参加希望者は、追加で申し込みをしてほしい。

<全員了承>

- 2 設立30周年記念事業について

(赤羽専務理事)

式典に併せて、五段位の認定講習会と中日本支部の四段位認定講習会を開催する。

広告(協賛者)は、60の団体や会社から100万円を超える申し込みがあり、さらに皆様からの広告を募ってゆきたい。

<全員了承>

- 3 第1回全麵協そば道五段位全国大会について

(山本副理事長)

開催に当たっては実行委員会を設け、山本副理事長を実行委員長とし、各支部から2名の委員を選出する。また実行委員会内に7つの部会を組織して実施計画を策定する。

大会への出場資格要件は、来年5月の30周年記念式典に参加することを原則とするが、同年8月頃開催予定の「特別研修会」へ参加した場合も、要件を満たすこととした。

<全員了承>

- 4 令和5年度事業計画について

- 5 令和5年度予算案について

(赤羽専務理事)

来年度の事業計画では、30周年記念事業として5月の富山市での記念式典と、11月8日の第1回全麵協そば道五段位全国大会の2大行事が予定されている。

また、第10回定時社員総会は6月17日東京都で開催する。五段位認定本審査会は10月28・29日北海道にて実施を予定している。

各支部では、12月20日までに来年度の事業計画と予算案を全麵協本部に報告してほしい。

検討課題とされてきた段位認定制度の改正については、山本副理事長を検討委員会の委員長とし、今後議論を進めることとした。

また、令和6年度の五段位・四段位認定会の会場については、今年度中に確保したい。

<全員了承>

理事会終了後、そば打ち+ (plus) の皆様によるそば再利用メニューの試食会がありました。

12月の「新そば祭り」でも提供されますので、お楽しみに！

全麺協第9回そば道五段位認定本審査会 開催報告

第9回そば道五段位認定本審査会が杜の都仙台市にて開催されましたので、報告いたします。

- 1 開催期日:令和4年11月12日、13日
- 2 開催場所:宮城県仙台市秋保市民センター
- 3 受験者数::78名
- 4 合格者数::43名
- 5 開催概要

依然としてコロナ渦ではありますが、昨年同様に「全麺協ガイドライン」を遵守し、仙台市の共催を得て開催しました。

本年度は、全国から一次審査、筆記試験を突破した受験者78名という昨年在大幅に上回る大勢の受験者が、2日間に渡り技能審査、意見発表審査に臨みました。

技能審査は難易度の高いそば粉100%、意見発表審査は『全麺協の発展にどのような協力ができるか』について、3分間で意見を述べていただきました。

その結果、幾多の難関を見事突破した43名が五段位に認定されました。

なお、東日本支部実行委員会のスタッフ延べ140名の献身的なご支援を得て、滞りなく無事終了することが出来ました。

(段位認定部長 土屋博一)

【五段位認定者】

NO	氏 名	所 属 団 体
1	清水 京子	いなべ市蕎麦打ち同好会「雅」
2	五十嵐 久隆	NPO法人 越前そば連合
3	馬場 兼雄	みつわ手打ちそばの会
4	屋成 博幸	平尾台手打ちそば倶楽部
5	米田 千鶴	彩蕎一門会
6	志摩 辰也	いしかり手打ちそば同好会
7	中林 朋子	ニコニコそば打ち同好会
8	酒井 茂	いばらき蕎麦の会
9	日沖 靖	いなべ市蕎麦打ち同好会「雅」
10	安部 卓	札幌蕎麦道会
11	松岡 弘武	北広島手打ちそば愛好会
12	田仲 悦朗	江戸流手打ち蕎麦 轟そばの会
13	杉原 輝美	上市そば道場
14	居上 栄	いしかり手打ちそば同好会
15	栗原 孝子	江戸流手打ちそば二・八の会
16	関澤 貞子	北海道空知上砂川手打ちそば愛好会
17	入江 一統	わいわい芸備蕎麦塾
18	大沼 克己	ふるさと寒河江そば工房
19	中條 善弘	信州そば道場
20	菊池 賢太郎	植田塾そば打ち倶楽部
21	菊地 佳重子	江戸流手打ちそば二・八の会
22	石川 利行	下野そばの会
23	北野 守	快適生活塾岩見沢手打ちそば同好会
24	藤林 信也	江戸流手打ちそば 蕎麦の会
25	河部 泰	宮城手打ちそば研究会
26	石田 任亨	手打ちそばサークル悠遊
27	佐藤 重一	青森県そば研究会
28	磯貝 弘美	札幌蕎麦道会
29	小関 純	TOKYO蕎麦塾
30	根本 幸恵	越前そば道場
31	小林 美樹雄	宮城手打ちそば研究会
32	山下 俊二	神戸手打ちそばの会
33	佐藤 晴夫	宮城手打ちそば研究会
34	多羽田 邦博	北海道 蕎麦会
35	有川 美紀子	苫小牧手打ちそば愛好会
36	沼本 茂樹	じぞう庵そば塾
37	小川 喜久次	そば塾 彩蕎庵
38	高橋 英三	十勝蕎麦倶楽部
39	川邊 美津江	沼田雪中そば倶楽部
40	吉川 甲次	しらこぼと蕎麦打ち会
41	長淵 豊	中標津手打ちそばさざ藪学校
42	花塚 洋	栃木県そば振興協議会
43	田中 博文	桃園そば打ち会



中日本支部四段位白山認定会を開催

令和4年度そば道四段位技能審査 「白山認定会」の開催報告



天高く澄み渡った秋空の下、石川県白山市で10月30日（日）四段位技能審査白山認定会が開催されました。ガイドラインに沿って開会式・閉会式はなく、

無観客で実施されました。早朝からスタッフの皆さんの準備が始まり、円滑な運営体制のもと滞りなく進み、受験者29名のうち20名が四段位に認定されました。



加藤審査員長から、水回しは、いかに一粒一粒に水を素早く浸透させるか、また粗挽き粉に対する加水方法を会得することが肝心であると話されました。



延しは、力任せに延すのではなく、肘を曲げずに体重を優しくかけること、四つ出しは、1と2の角の出し方に注意を払い、左右対称にすることがポイントであると解説されました。

切りは、リズムと姿勢が大切であるが、外包丁の人が多く、麺線の上と下の幅が違う人が多かった。総合評価は、悠然とした姿勢を保ち、清潔感に注意を払っていただきたい。またそば打ちの原点はいかに美味しいそばが打てるかであり、自然体で体の力を抜いて基本をマスターすれば、技術は自ずと向上すると詳細な講評をいただきました。

（本部段位認定部 調査研究員 横田節子）

会員だより

運動で肥満を抑える物質が見つかった。

運動が健康の維持に大切なことは普く知られていて、病気の発症や老化防止にも役立っている。運動がどのように身体に作用するのか不明の点が多いが、運動によって生ずる「特定の物質」が食欲や肥満を抑えることが米・スタンフォード大学のLong教授らの最新の研究で分かった。これは肥満を薬物で治療できる可能性を示唆するもので、英国の新聞 TheIndependentにも報じられているようにメディアでも話題に上っている。

マウスを使ったLong教授らの研究の概要は以下の通りである。マウスを動物用トレッドミルで運動させると、血液中のN-ラクトイルフェニルアラニン（Lac-Phe）が運動前に比べ増えていた。そして、そのマウスの食物摂取量や体重は減少していた。次に、高脂肪食飼料を与えて肥になったマウスにLac-Pheを投与すると、運動しなくても食物摂取量は減少していた。Lac-Pheは

ラクテートとフェニルアラニンからCNDP2という酵素の働きによって作られる。そこで、CNDP2の発現に関わる遺伝子を欠損させた（CNDP2が働かないようにする）マウスでは、トレッドミルで運動しても血液中のLac-Pheは増加していなかった。

運動によって生じたLac-Pheはマウスの食欲や体重を減少させる働きのあることが分かったが、その詳しい働きの解明はこれからの研究課題である。面白いことに、レース終了後の競走馬やトレッドミルで運動したヒトの血液中でもLac-Pheが増加していたとLong教授らは論文で述べている。

美味しいそばを作るには手先だけでなく全身で力を込めて打つことが不可欠である。そば打ちを始めてからウエストサイズがワンサイズ減った。そば打ちによるLac-Pheのお陰かもしれない。

（江戸流手打ちそば二・八の会 松本 明）

会員だより

北海道剣淵町安田ファミリーの挑戦

北海道剣淵町に安田ファミリーがいる。大本は、安田薫さん、現在五段位88歳である。農業団体の役員や民生委員などを歴任し、75歳からそば打ち。始めたきっかけは「おいしいそばを食べたかったから」。平成20年のことである。

知人を介して幌加内町のそば打ち師匠を紹介してもらい、「幌加内そばスクール（現、幌加内そばスクール蕎麦庵）」に入会し、初段を取得後は順調に、段位を上げていった。四段位は平成23年、高山市において妻の久子さんの応援、そして五段位は平成27年、神戸市において妻・娘・孫の3人の応援をもらい、何れも難なく合格した。最年長記録である。

また、第2回目のモンゴル交流会にも積極的に参加した。本年、永年の民生委員活動が評価され、高齢者叙勲を受賞した。

さらにまた、そば打ちのみでは飽き足らず、そば粉の製粉を始めた。



平成27年には孫の高橋綾乃さん（現在鈴木姓）がそば打ちを始め、令和元年に三段位認定となる。



綾乃さんのそば打ち講習会に同行していた折、そば打ちの指導員をしている女性の姿に感動し憧れ、平成29年、娘の高橋富士子さん（綾乃さんの母）が、そば打ちを始めることとなる。以前から誘いを受けていた義姉の安田みゆきさんも共に始めることとなり、親子三代4人でそば打ちを楽しんでいる。

綾乃さん、富士子さん、みゆきさんは3人とも「じいちゃん」の厳しい指導を受け、腕に磨きをかけてきた。去る10月8日に石狩市で行われた四段位技能審査では、見事3人揃って四段位に認定された。今後、益々の安田ファミリーの活躍が期待される。

（北海道支部広報渉外部長 高谷晶美）

支部だより

指導員指導技術講習会の開催

コロナ感染防止策として、2か所（地区割）に分けて開催した。

1回目は、8月27日北竜町公民館において、受講者（指導員三級、五段の会）及び役員・講師67名により開催した。

2回目は、10月1日苫小牧市北洋大学において、受講者（指導員三級、五段の会）及び役員・講師93名により開催した。これにより、指導員三級任用者150名中124名が受講した。（受講率 82.7%）

講習内容は、3月に実施した指導員三級任用

講習会で説明した、指導の際に使うアドバイスシートについて、そば打ち動画を見ながら、指導箇所をチェックし、アドバイスシートに記入したあと、各グループに分かれて4工程について討議を行い、その後、グループ代表による意見発表を行った。口で伝えるのと違い、指導ポイントを記入するのは、難しいとの声も聞かれた。

最後に、アドバイスシートを有効に使うためにも、新規会員を増やして頂きたいと、お願いをして講習会を閉じた。

（北海道支部広報渉外部長 高谷晶美）

異動のお知らせ

会員の異動は、次のとおりです。

- 1 加入（地方公共団体賛助会員）
階上町（青森県）

全麺協ニュースフラッシュ編集グループ

編集責任者 赤羽章司

編集主任 原秀夫

チーム員 山本良明 萩原敏彦 横田節子

皆様からの情報提供をお待ちしています。